

学術集会は22、23日の2日間開催。病児の遊び、
災害時の遊びなど幅広く学び合います。
乳幼児分野に限らず、みなさんと遊びを通しフラッ
トに子どもにとっての遊びの大切さ、子どもを取り巻
く環境について考えてみたいと思います。
楽しい実践講座もあります。ぜひご参加ください。
詳細、申込みはこちら→<https://jaimh.org/info/2402/>

※申込み(要参加費)でオンデマンド配信もあります(明和先生は無し)



いのちを躍動させる遊びのちから ～こども心で遊びあおう～

日時

2026 年 11 月 22 日 日

9:50-10:50

15:10-16:10

会場

富山大学五福キャンパス 共通教育棟 C21教室

第
1
部

9:50-10:50

「数字で学ぶSNS、生成AIの脅威」

講師

山田 正明 先生 富山大学学術研究部医学系疫学・健康政策学講座准教授

第
2
部

15:10-16:10

「生涯の心身の健康はこども期から一脳と心の発達を支える腸内環境」

講師

明和 政子 先生 京都大学大学院教育学研究科教授

※演題が変更になりました

※お問い合わせ先 富山イタズラ村子ども遊ばせ隊 kawaigarizm_net@sa3.so-net.ne.jp

今世界からの目線が熱い！

フィンランド、チェコ、アイルランド、ワシントン、パナマ・・・と。

ふたりの研究者が、ポリクライシス（複合的危機）的世界環境の中、

子どもの生育に大切な最先端科学を一挙に公開。

山田先生は滋賀県出身で富山医科薬科大学を卒業後、12年間消化器内科医として臨床医をされ、2014年から富山大学の教員に就任されました。博士論文のテーマは「子どもの生活習慣病と家庭環境」です。生活習慣病の中でネット依存の研究を中心とされ、そのエビデンスに基づく健康教育は全国的レベルで注目されております。この市民公開講座では依存症アルゴリズムがどのようにSNSや生成AIで使われているか、について講演されます。

明和先生は高岡出身で京都大学で学び、研究者の道へ。ヒトの「生と死」や「心の奥」への心から、「障がい児学」（故人・田中昌人教授）へと学びの対象を移すも、京都大学霊長類研究所に身を置き、ヒトの心だけでなく、チンパンジーの心も研究対象とすることで、「比較認知発達科学」という新分野を開拓。研究結果から、ヒトの育児スタイルは本来、「共同養育」と提唱し、多くの母親たちの共感を呼んでいます。そして今、「大人中心の工業化社会の中で、子どもが子どもらしくいられる時空間が失われ、心身の病気や発達に歪みがかかえて苦しむ子どもが増えている状況を、大人としてこれ以上放置してはいけない、と考え、子どもの健やかで幸せな発達にかせない甘えや遊びを、科学的エビデンスによってその重要性を見えるものになしようと、脳科学を軸とする発達研究に邁進しています。この秋にトロントで開かれる世界乳幼児精神保健学会では日本の最新知見を世界に発表することを通して、子どもの幸せを守る大人の責任を訴えます。